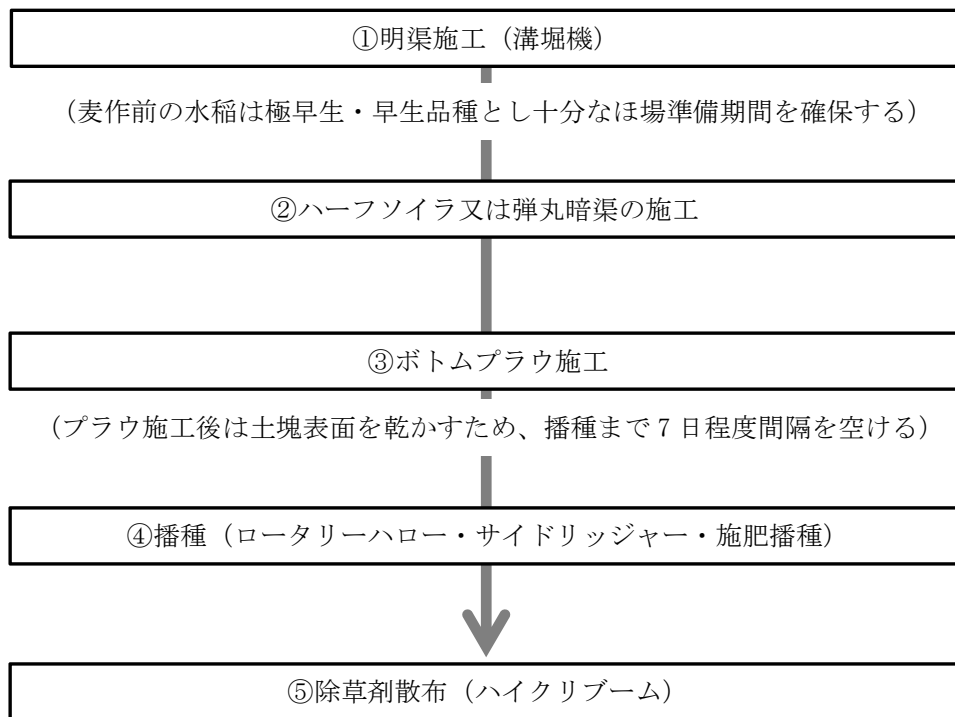


参考資料 23 ボトムプラウを利用した麦の播種工程

麦の安定収量確保のためには、適期播種と出芽時の湿害対策による出芽率の確保が極めて重要である。

ボトムプラウを利用すると耕起した土塊の表面積が大きいこと、また作土の水が素早く下層へ移動することから、播種床を形成する土壌表面が乾きやすくなるため適期播種が可能になる。また、麦生育初期の根圏土壌が乾きやすいため初期生育が促進されるなどの効果も期待される。

このようにボトムプラウ耕は播種適期幅の狭い麦栽培における播種作業工程として有効である。



①明渠の設置



②ほ場内排水溝の設置



③ハーフソイラー施工



④ボトムプラウ施工



⑤耕起・施肥・播種



⑥均一な初期生育